

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
災害看護	3年次 前期	必修	講義	1単位（15時間）	渡辺しき子
授 業 概 要					
<p>近年、地球温暖化に伴う気候変動などの影響もあり、災害の頻度や規模が拡大し、被害も増大している。このような状況の中で被災傷病者の医療・看護への期待は大きく、看護職者は人々の健康に関わる看護の専門職として役割を發揮していくことが求められている。災害時の救援活動は、救護チームとして活動し、国や地域の災害対策にのっとり実施される。災害活動の法的根拠や他職種と協働し、災害時の看護活動を円滑に行うために必要となる災害医療・看護の基礎知識を身につける。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害医療・災害看護の基礎的知識を述べる。 2. 災害サイクルに応じた災害看護について説明する。 3. 災害とこころのケアについて気づきを示す。 4. 成人の救急蘇生をモデルに対して正確に実施する。 5. プレホスピタルケアの必要性を認める。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	1. 災害看護と救急看護				渡辺しき子
2,3	2. プレホスピタルケアの必要性				外部講師
4-7	3. 一次救命処置（BLS） 心肺蘇生法 AED（自動体外式徐細動器）				外部講師
8	4. 災害医療と看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 災害及び災害看護の基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> (1) 災害の種類と健康障害 (2) 災害医療の特徴 (3) DMAT 2) トリアージの意義と方法 <ol style="list-style-type: none"> (1) スタート法・・・演習 (2) トリアージタグの取り扱い 3) 災害看護の基礎 4) 災害サイクルと看護 <ol style="list-style-type: none"> (1) 急性期・亜急性期 (2) 慢性期・復興期 (3) 静穏期 4) こころのケア 5) 演習 <ol style="list-style-type: none"> (1) 止血法 (2) 搬送法 				
8	科目修了試験				
学 習 方 法					
講義、演習。提示した課題についてレポートを提出する。グループワークやレポートなどで積極的に授業に参加する。新聞、インターネット、その他から情報を自ら得て、自ら考え追求していく姿勢が必要である。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験、レポート、詳細は授業初回に提示する。					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
〔教科書〕 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学 日本赤十字社 事業局看護部 医学書院					